



秋厚労ニュース

NO1993号
2022年12月21日
秋田県厚生連労働組合
秋田市山王5-4-2
TEL 018(864)3341
FAX 018(864)3349

日本の 社会保障レベル高くない

**全厚労第39回
医療研究集会**

11月18日(金)～19日(土)、全厚労第39回医療研究集会が開催されました。愛知県のロワジールホテル豊橋をメイン会場に、オンラインとの併用です。秋厚労5名を含む84名が参加しました。



地域住民とつながる 医療研究運動

集会のメインテーマは「住民とともに協同組合医療運動を復興させよう」。

全国の厚生連は、無医村が多かった時代、医療にかかれぬ農民たちが自分たちで病院を建てた運動から始まりました。全厚労医療研究集会は、労働組合として地域とつながり、住民と一緒に地域医療を守る運動を探究しています。

日本の社会支出

先進6ヶ国中最下位

特別学習講演の講師は、佐久大学教授の唐鎌直義さん。「日本の社会保障のレベルと財源問題―貧困・格差・働き方―」と題して講演し

ました。

唐鎌さんは「日本の社会支出(社会保障給付費と、それに関わる施設整備費等)の総額は大きいですが、それは社会保障のレベルが

医療分野 国民1人当り社会支出

フランスより年間9万円低い

日本の保健(医療)分野への社会支出は、1人当り年間、イギリスより約8万5千円、フランスより約9万1千円低いです。

唐鎌さんは「強力な医療費抑制政策が敷かれてきた。コロナ禍で医療崩壊が起こったのは、これが原因。平時の病床数・スタッフ数を極限まで合理化した結果」と指摘。家族・失業分野も低く、貧困分野は「もはや先進国でなく、途上国と比較する方がふさわしい」と言います。

フランス並みなら

社会支出5割増が必要

1人当り国民総所得が日本に近いのはフランス。「経済力の点でフランスにできることは、日本にもできて当然」と話します。

高いからではなく、単に日本の人口が多いから」と解説します。実際、日本の社会支出は先進工業国6ヶ国中、総額では2位ですが、国民1人当りで見ると最下位です(下表)。

もし日本の社会保障をフランス並みに引き上げるなら、社会保障全体で、あと74兆7千億円余が必要。現在の社会支出額を1.5倍にする計算です。「もっと医療にお金をまわせ、と主張して良いんですよ」と呼びかけました。

病院再編統合の

背景に医療費削減

特別報告は岐阜県から。岐阜県内の2つの医療圏域で、厚生連病院を含む再編統合が進められています。片方の圏域では住民による反対運動が立ち上がり、町中には「厚生病院を残して」の張り紙も。

報告した高木さんは「我々の使命は住民のいのちを守ること。病院再編統合の背景には地域医療構想、医療費削減がある。背景で起こっている

社会支出(総額)と国民1人当り社会支出の国際比較(2015年)

	国民総所得 (USドル)	順位	社会支出総額 (USドル)	順位	総人口 (人)	順位	1人当り社会支出 (USドル)	順位
スウェーデン	5081.9億	6位	2108.5億	6位	976万4950	6位	2万1592	1位
フランス	2兆4908.6億	5位	1兆1233.8億	4位	6659万6315	4位	1万6868	3位
ドイツ	3兆4370.2億	3位	1兆2442.0億	3位	8178万7411	3位	1万5213	4位
イギリス	2兆8615.9億	4位	8776.5億	5位	6586万0146	5位	1万3326	5位
日本	4兆5580.9億	2位	1兆4112.2億	2位	1億2798万5133	2位	1万1026	6位
アメリカ	18兆7043.2億	1位	5兆7253.9億	1位	3億2087万8310	1位	1万7843	2位

唐鎌教授の資料より

ことに目を向けるべき」と強調しました。

2日目は4つの分科会に分かれ、職場の現状を交流し、話し合いました。